帯大谷 2年ぶり 頂点

高体連十勝支部新人大会

【女子決勝】スマッシュを打つ帯大谷の平松あすか（手前）・大場実羽組

男子は帯緑陽 8年ぶり

ソフトテニス

高体連十勝支部新人大会（団体戦）兼全日本高校選抜大会道予選会十勝支部予選会が9月28日、帯広の森テニスコートで行われた。4校出場の男子は総当たりのリーグ戦、7校出場の女子は予選リーグと決勝トーナメントを実施した。男子は帯緑陽が3勝で8年ぶりに優勝し、帯大谷が準優勝、帯工が3位。女子決勝は帯大谷が帯緑陽に2―1で競り勝ち2年ぶりに優勝した。3位は帯三条。男女の上位3校が全道大会（来年1月21～24日・札幌市）に出場する。（松崎篤嗣）

大場・平松けん引「全道4強狙う」

帯大谷

○…女子は個人戦ダブルスも制した大場実羽・平松あすか組（2年）がけん引する帯大谷が優勝を決めた。

大場は「調子が良く、ボールも深い所に入って相手が先にミスする展開も多かった」。平松は「予選リーグは調子が上がらなくて打点をつかむことが難しかったけど、準決勝以降は決めるところは決める普段通りのプレーができた。全道はベスト4以上を目指したい」と意気込んだ。

池田有那・三浦愛里の1年生ペアも予選リーグから全勝してチームに貢献。池田は「高校に入って初めての団体戦でプレッシャーもあったけど、つなげていったところを前衛に決めてもらう展開をつくれて良かった」。三浦は「予選リーグではあまり足が動かなかったけど、準決勝以降はポーチボレーなど自分から積極的に出て決めることができた。全道大会でも自分らしくプレーしたい」と話していた。

決勝を競り勝ち、2年ぶり女子団体優勝の帯大谷

4校出場の男子を8年ぶりに制した帯緑陽

選手層も充実

帯緑陽

○…男子は帯緑陽が全勝で優勝を遂げた。2年生の工藤悠雅・森山優組は3戦全勝でチームをけん引。同ペアは8月の個人戦ダブルスでも優勝しており、新人戦2冠とした。

森山は「リラックスできていてファーストサーブでいい所を狙えていたし、返されたところを工藤が決めてくれることが多くていい形で得点を重ねられた」。工藤は「スマッシュとポーチでボールの捉え方が良くて決め切ることができた。ローボレーでも粘った末に決められて良かった」と振り返った。

昨年の団体戦は部員数が少なく、4チーム中4位だったが、今年は1年生7人が加入し選手層も厚くなった。工藤は「今年も3年生最後の大会で全道に連れて行けず悔しい思いをしたけど、雪辱を果たせた。チーム全体としてはまだ持久力が足りていないので、冬の間にしっかりトレーニングを積みたい」と話していた。

女子準優勝の帯緑陽

男子準優勝の帯大谷

女子3位の帯三条

男子3位の帯工

【男子】◇リーグ戦

▼順位＝①帯緑陽（3勝）②帯大谷（1勝2敗）③帯工（1勝2敗）④帯農（1勝2敗）

※2～4位は当該チームの得失点差による

【女子】◇予選リーグ▽Aブロック

▼順位＝①帯大谷（2勝）②帯南商（1勝1敗）③芽室（2敗）

▽Bブロック

▼順位＝①帯緑陽（3勝）②帯三条（2勝1敗）③帯農（1勝2敗）④鹿追（3敗）

◇決勝トーナメント▽準決勝

帯緑陽 3－0 帯農
帯大谷 3－0 帯鹿追
帯三条 3－0 帯業追
帯南商 2－1 帯芽室

▽第3代表決定戦

帯緑陽 2－0 帯南商

▽決勝

帯大谷 2－1 帯緑陽

女子は横山（帯緑陽2年）V

主将の自覚強く

横山

○…1部女子単は帯緑陽の新主将に就いた横山奈都美が夏季大会に続き連勝した。11、12月の全十勝新人大会に向け、「優勝して全道大会に出場したい」と意気込む。

決勝は内田千智（帯三条）との試合となり、第1ゲームを12―21で取られたものの、第2ゲームはリードされながらも後半に巻き返し21―19で取り返した。第3ゲームは後半に追い上げられジュースとなるも、22―20で激戦を制した。

ミスが多く、アウトになるシャトルも多かったというが、夏の高体連後に練習したネット際で同じ動作からヘアピンやロブを打ち分けるプレーがうまく決まった。主将になってからの優勝は今回が初めて。「チームを引っ張っていかなきゃと気が引き締まった。明るく楽しくがチームのモットー」と話していた。

【1部女子単決勝】ネット際の打ち分けを駆使して優勝をつかんだ帯緑陽の横山奈都美

【男子】◇シングルス▽準々決勝

小川颯莱（帯大谷）2－0 和賀悠悟（帯大谷）
佐々木一成（帯大谷）2－0 新井遥人（帯工）
竹村怜斗（帯大谷）2－0 吉田一咲（帯大谷）
木村友翔（帯大谷）2－0 川上諦道（帯大谷）

▽準決勝

小川 2（21―10、21―17）0 竹村
木村 2（21―19、22―9）1 佐々木

▽3位決定戦

佐々木 2（21―18、21―15）0 竹村

▽決勝

小川 2（21―19、21―19）0 木村

◇ダブルス▽準々決勝

木村・竹村（帯大谷）2－0 和賀・小川颯莱（帯大谷）
竹村・小川（帯大谷）2－0 杉森・吉田（帯大谷）
竹山・後藤（帯大谷）2－0 柴田・田村（帯大谷）
新井・川瀬（帯工）2－0 竹村・小川（帯大谷）

1部女子単の上位入賞者

1部女子複の上位入賞者

小川 帯大谷2年 単連覇

劣勢にも乱さず

小川

○…1部男子単は小川颯莱が連覇を果たした。「同校対決の準々決勝くらいからポイントを先行される場面もあったけど、落ち着いて自分のプレーをすることができた」と振り返った。

決勝では後輩の木村友翔に押されながらも粘り、21―19で第1ゲームを奪取。第2ゲームも前後左右に振るコース選択で相手を崩し、21―19で競り勝った。小川は「狙って攻めにいった時に相手を崩すことができていたので良かった」。

11月には全十勝新人大会個人戦、12月には同団体戦が控えており、「全部の羽根に対して踏み込むのではなく、手を伸ばして届く部分には体を残しておかないと次の羽根に追いつけない」と気を引き締めた。

勝毎杯全十勝高校秋季大会

バドミントン

第57回十勝毎日新聞社杯争奪全十勝高校秋季大会（十勝バドミントン協会主催、高体連十勝支部共催）が9月14、15の両日、札内スポーツセンターなどで行われた。1部の男子シングルス（単）は小川颯莱（帯大谷2年）が木村友翔（同1年）との同校対決を制し、夏季大会（7月）に続く優勝で今大会2連覇を果たした。ダブルス（複）は木村・竹村怜斗組（同1年）が頂点に立った。男子は単複共に帯大谷勢が1～4位を独占した。女子単は横山奈都美（帯緑陽2年）、複は内田千智・三浦一華組（帯三条2年・1年）が制し、共に夏季大会に続く優勝を遂げた。（松崎篤嗣）

1部男子単で大会連覇を果たした帯大谷の小川颯莱

ダブルスV 木村・竹村（帯大谷） 内田・三浦（帯三条）

○…1部男子単は小川颯莱が連覇を果たした。「同校対決の準々決勝くらいからポイントを先行される場面もあったけど、落ち着いて自分のプレーをすることができた」と振り返った。

決勝では後輩の木村友翔に押されながらも粘り、21―19で第1ゲームを奪取。第2ゲームも前後左右に振るコース選択で相手を崩し、21―19で競り勝った。小川は「狙って攻めにいった時に相手を崩すことができていたので良かった」。

11月には全十勝新人大会個人戦、12月には同団体戦が控えており、「全部の羽根に対して踏み込むのではなく、手を伸ばして届く部分には体を残しておかないと次の羽根に追いつけない」と気を引き締めた。

1部男子単の上位入賞者

1部男子複の上位入賞者

【男子】◇シングルス▽準々決勝

小川颯莱（帯大谷）2－0 木村友翔（帯大谷）
佐々木一成（帯大谷）2－0 川上諦道（帯大谷）
竹村怜斗（帯大谷）2－0 吉田一咲（帯大谷）
和賀悠悟（帯大谷）2－0 新井遥人（帯工）

▽準決勝

小川 2（21―10、21―17）0 竹村
木村 2（21―19、22―9）1 佐々木

▽3位決定戦

佐々木 2（21―18、21―15）0 竹村

▽決勝

小川 2（21―19、21―19）0 木村

◇ダブルス▽準々決勝

木村・竹村（帯大谷）2－0 和賀・小川颯莱（帯大谷）
竹村・小川（帯大谷）2－0 杉森・吉田（帯大谷）
竹山・後藤（帯大谷）2－0 柴田・田村（帯大谷）
新井・川瀬（帯工）2－0 竹村・小川（帯大谷）

▽決勝

木村・竹村 2（21―19、17―9）0 佐々木・川上

◇シングルス▽決勝

岸本望武（帯緑陽）2－1 津本陽祐（帯三条）

◇ダブルス▽決勝

宮田滉生・眞田拓斗（芽室）2－0 川原隼颯・菅原大吉（帯柏葉）

▽3位決定戦

吉田・杉森 2（21―18、21―15）1 小川・和賀
佐々木・川上 2（21―17、13）0 小川・和賀
木村・竹村 2（21―22、17―20）0 吉田・杉森

▽準決勝

佐々木一成・川上諦道（帯大谷）2－0 小川英吉・岸本陽晴（帯北）

【女子】◇シングルス▽準々決勝

貝谷悠莉（帯柏葉）2－0 佐藤奈津美（帯三条）
三浦一華（帯三条）2－0 大坂美羽（帯北）
内田千智（帯三条）2－0 矢藤秋穂（本別）

▽準決勝

横山奈都美（帯緑陽）2－0 貝谷悠莉（帯柏葉）
中山彩華（帯南商）2－1 三浦一華（帯三条）

▽3位決定戦

横山 2（21―12、21―13）0 中山
内田 2（22―20、14）0 矢藤
矢藤 2（21―17、13）0 中山

▽決勝

横山 2（22―20、19―21）1 内田

◇ダブルス▽準々決勝

内田千智・三浦一華（帯三条）2－0 上田詩織・結城華恵（帯北）
小松理世・横山奈都美（帯緑陽）2－0 大村愛維・貝谷悠莉（帯柏葉）
佐藤奈津美・中山彩華（帯南商）2－0 金野歩未・山本蒼依（帯南商）
大坂美羽・内藤まゆ（帯北）2－0 丹波愛莉・佐藤織（帯大谷）

▽準決勝

内田・三浦 2（21―18、16）0 小松・貝谷
大坂・内藤 2（21―19、21）1 佐藤・織田

▽3位決定戦

佐藤・織田 2（21―17、26）1 小松・貝谷

▽決勝

内田・三浦 2（21―10、11）0 大坂・内藤

◇ダブルス▽決勝

坂本真菜・田口千陽（帯柏葉）2－1 柴田琴菜・池田芽生（帯南商）

【2部】◇シングルス▽決勝

野々村美柚（帯南商）2－1 藤川由菜（音更）

◇ダブルス▽決勝

藤川・野々村（帯南商）2－1 坂本・内藤（帯柏葉）